

会 議 録 (要約版)

1 会議名

平成30年度 第1回 阿賀野市水道事業審議会

2 開催日時

平成30年10月29日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで

3 開催場所

阿賀野市上下水道局 3階 大会議室

4 出席者(傍聴者を除く)、氏名(敬称略)

- ・委員: 小林龍幸(会長)、斎藤泰弘(副会長)、天野美三男、市川英敏
佐藤利江子、鈴木美由紀、市川明子、長谷川正衛(8人全員出席)
- ・事務局: 仁谷上下水道局長、小林上水道次長、新保浄水場長、武者水道技術管理者
高橋庶務係長、菅原庶務主任(計6人)

5 議題(公開・非公開)

- (1) 平成29年度水道事業会計決算状況報告 (公開)
- (2) 放射性物質を含む浄水発生土の状況 (公開)
- (3) 阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について (公開)

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者

0人

8 会議録

発言者は「会長」「副会長」「委員」及び「事務局」の名称区分とした
発言の内容(○印)は概要表示

【事務局】

○平成30年度第1回阿賀野市水道事業審議会の開会を告げ、本審議会が規程により傍聴が可能であること、議事録は市のホームページで公開することなどの承諾を求める。

○資料の確認をおこなう。

- ・平成29年度 阿賀野市水道事業決算報告書
- ・資料No.1 平成29年度 有収水量の実績
- ・資料No.2 平成29年度 決算の概要
- ・資料No.3 新水道ビジョンと決算との数値比較
- ・資料No.4 放射性物質を含む浄水発生土の状況

○小林会長に進行を引き継ぐ。

【会長】

みなさん、こんにちは。議長を務めさせていただきます、小林と申します。

お隣の、斎藤（副会長）さんとともに、無事に今日の会議を進行させていただきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくどうぞお願いします。

あらためまして平成30年度第1回水道事業審議会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多忙のところお集まりいただき大変ありがとうございます。

今回は主に平成29年度決算の概要説明ということでございます。事務局から説明をいただいたうえで皆様から審議いただきたいと思っております。

本審議会の開催により水道事業の安定経営に寄与できますようご協力のほどお願いいたします。

それでは次第にしたがいまして進めてまいります。

最初に事務局を代表して局長からあいさつをお願いします。

【事務局】

おつかれさまでございます。皆さまにおかれましては、大変お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。

本来であれば、市長が参りましてご挨拶を申し上げるべきところでございますが、日程の調整がつかず本日は出席できないことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

本日の審議会でございますが、今ほど会長の方からありましたとおり、市長からの諮問でさせていただく案件はございませんが、平成29年度の決算状況の報告を中心にすすめさせていただきまして、その他、浄水場に未だ保管を余儀なくされております「放射性物質の関係」の状況につきましても報告をさせていただきます。

特に給水状況では、昨年度、冬場に寒波が厳しかった関係がございまして、水道水の使用量にも影響がございました。当市の水道事業におきましては、なんと10年ぶりに前年度の実績を上回るような水量を記録いたしまして、幸いにして好結果に繋がったということになりました。

本日はこの給水状況を含めまして、報告をさせていただきまして、皆さまからご審議をい

ただきたくお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいいたします。

それから、紹介が遅れましたが、本年度、事務局の方で上水道次長と技術管理者が変わりましたので、それぞれ自己紹介させていただきます。

【事務局】 （自己紹介）

【会長】

ありがとうございました。よろしくお願いいいたします。

それでは議題に入らせていただきます。議題の（１）と（２）を併せて審議いたします。

皆さまにおかれましては、（１）と（２）の資料を見ながらお願いいいたします。

質疑・意見等ございましたら、全ての説明が終わりましたらお願いいいたします。

事務局説明お願いいいたします。

議題（１） 平成２９年度水道事業会計決算状況報告

【事務局】

○資料No.1 「平成２９年度 有収水量の実績」について説明

【事務局】

○資料No.2 「平成２９年度 決算の概要」について説明

【事務局】

○資料No.3 「新水道ビジョンと決算との数値比較」について説明

議題（２） 放射性物質を含む浄水発生土の状況

【事務局】

○資料No.4 「放射性物質を含む浄水発生土の状況」について説明

【会長】

○事務局からの説明が終了し、質問や意見を諮る。

【委員】

只今の説明の中で、水道料金の未収の関係について詳しく説明をお願いします。

【事務局】

料金の未収に関してでございます。収納率では概ね 99.8～99.9%で 100%に近い収納率となっております。

どのような（徴収）方法を取っているかといいますと、お支払いいただけないお客様には丁寧な対応をさせていただいて、いつまでに払っていただきたいということを電話連絡や訪

間をさせていただいたうえで、どうしても回答がない場合については、(給水)停止をします。というお知らせ(予告)をしたうえで水を止めるという手段をとっており、概ね月に5から10件くらい、実際に給水停止という手段を講じなければならない世帯もごございます。

そういった世帯につきましては、(給水停止後)すぐにお支払いいただくような状況がパターンとなっております。未収になるというケースは、無断で市内から転居されて全く状況がつかめなくなったり、又は倒産されてお支払いいただけない場合となっております。月は遅れたりしますが、最終的には99.9%に近い数字の方々からは収納をいただいている状況でございます。

【委員】

ありがとうございました。

収納状況についてはわかりました。

さて、冒頭の仁谷局長のご挨拶の中にもありましたが、今年の2月の大寒波、あの時は水道管の破裂とか家庭内での凍結、かなり大騒ぎしたこともありましたが、市としては「メーターから中(住宅側)の方は、うち(上下水道局)は関係ないよ。」というのではなくて、やはり各器具、水道管とかボイラーが凍結した場合にどのような対策を講じているのか、講じている、いないに関わらずご説明をお願いします。

【事務局】

今年は水量の伸びにより、料金(収入)も上がりましたが、凍結修理などを業者に直接依頼されたもの、上下水道局に依頼がきたもの合わせて、1,000件程度でございました。

それに対して、料金の軽減につきましては、申し出があったものについて、通常よりも漏れていっぱい使ったと思われる量の半分、又はボイラー以降の直接給水でないものは3分の1、そのような軽減を図らせていただいたところでございます。

修理依頼については、業者の方もすぐに対応出来ない状況もありまして、まずは漏水箇所を止めて、修理資材が入った後、改めて修理するというような所も多々あったようでございます。我々又は業者も出来るだけ早く対応しようとした努力はしたところでございますが、なかなかご要望のとおりにはいかなかったところもあったというのが実態でございまして、その辺は反省点として、今後同じようなことにならないように、もう少し管工事組合と連携を取って行かねばならないと思っているところでございます。

料金については、そういった軽減措置がございまして、最終的には112件のお客様に対して軽減を行い、金額は210万円程度軽減をさせていただいたところでございます。

ちなみに、下水道の使用料の方も付随するわけでございますが、下水道の方は65件、概ね150万程度軽減をさせていただいたところでございます。

【委員】

実は私の隣の家庭は女性の2人暮らしで、その大寒波の夜、何とかしてくれと、私の家に来られました。私は設備屋でもないですけれども、とにかく駆けつけまして、先ず元栓を閉ようと思って、元栓の所へ行きましたが、元栓が破裂している状態でした。

一般家庭がこうなった場合、夜間ですのでどこへ連絡したらいいかわからない。ほとんどの家庭がそうだと思います。その中で、今ほど仁谷局長が言われたように、設備屋さんと相

談していただきたい。特に休日、夜間の対応です。要は設備屋さんが仕事していない時間帯に対応出来るような体制をしっかりとれるよう相談していただきたいと思っています。この点について早急に対応していただけるようお願いいたします。

【会長】

私からはですね、そういった事故と言いますか、寒波が来るからこういう予防をしましょうという、業者との連携を強化することもお願いしたいと思います。

【事務局】

実は、この寒波以外でも緊急的に対応しなければならないことがありますので、私ども（上下水道局）と管工事組合で維持管理契約をしております、365日、24時間、当番制で、何かあれば私どもに連絡が来て、直ぐに当番店に連絡をして対応をさせるという体制をとっていますが、この度は予想を超える多くの依頼がありましたので、それが機能しなかったという反省がございます。

事前にその寒波に対して要請はしていたことは間違いありませんが、言い訳になるかもしれませんが、この度の寒波はそれを上回るような状況になってしまったということでございます。

これをひとつの反省ということにさせていただいて、もう少しスムーズにそういった修理対応が円滑にいくような形で、管工事組合と協議したいと思っておりますのでご理解いただきたいと思えます。

【委員】

今のことについてですが、もしその時期（寒波）が近付いたら啓蒙するというか、PRするというか、寒波が来そうですよというときは水を出しておいてください。或いは、何かあったときはこういうものがあるので利用してください。というチラシみたいなものを出していただければいいのではないかと思います。

【事務局】

チラシについては、検針員さんが全世帯を検針しますので、その際に必要なチラシを配っていただいております、冬の前には、凍結防止のための対応をしてください。というようなチラシも配っていただいております。ただし、その当時は通常の凍結しか想定しておりませんでしたので、今後は今回のような大寒波もあることを想定して広報の仕方を考えていかなければならないと思っております。

【委員】

今の続きですけど、緊急の場合、どこに連絡すればいいでしょうか。

【事務局】

緊急の場合、水道（上下水道局）の代表の62-2159に連絡していただけると、通常時間帯であれば職員が対応いたしますし、時間外は、浄水場の方は時間外でも委託員がおりますので対応させていただきます。

以前は管工事組合の事務所に常時代行員がおりましたが、委託経費の問題もありましたので解消しましたが、現在は（大室）浄水場に繋がるというシステムになっております。

浄水場で受けた委託員が担当職に連絡するというかたちになっておりますので、直接上下水

道局に電話連絡をいただければ対応できるということになっております。

【会長】

もう少し簡単なルートはないのでしょうか。(市役所本庁の)警備員室に電話したら、ここに繋ぐよというような。今の答えは、一般の家庭にはちょっと分かりにくいのでは。

【事務局】

(市の一般会計と)事業が違うということがネックになるところがございまして、本庁の警備員にもお願いしてはおりますが、そこから業者に直接連絡していただくというような契約にはなっていないということで、今のところは本庁から直接にという体制にはなっていない状況です。本庁の警備員に連絡した場合ですと、警備員から上下水道局の職員に連絡するというかたちになっておりまして、(警備員から)直接業者に依頼するというのは今の体制ですとなかなか難しいと思われまます。あらためてお願いし、それも付随した業務として、本庁の契約に入れてもらうという必要があつて、今のところはそこまでは行ってない状況です。繰り返しになりますが、本庁に連絡した場合は、警備員から職員に電話が回ってくるというのが今の状況です。

【委員】

今、会長が言われたとおり、私もかなり複雑な体制にあるのだなと思います。電話連絡の場合は、浄水場から一旦職員に回って、メーターの先の例えばボイラーなどの器具が破裂したとした場合の対応も当然、設備屋さんで連絡して24時間対応できる、してくれるということですよ。

【事務局】

そのとおりでございまして、(管工事組合の)代行員の場所が(浄水場に)変わったというような感覚でいただけて結構です。通常は浄水場から職員に連絡が来て、職員から状況を確認したうえで業者に連絡するというかたちにいまのところなっております。

【委員】

私が先程言いました隣のお宅では、風呂場で破裂してかなりの水が出ているという状態の中で、確か市にも連絡しましたがけれども混乱して連絡がつかないということで、私の同級生が設備屋さんで勤めていましたので、寝ているところを起こして無理やりといいますか、本人も快く来てくれたんですけども、そんな状態で応急処置だけはしていただいたような状況でした。これが先程言われました1,000件という中で、かなり連絡体制も混乱していたのかなというふうに思っておりますし、また、そのときの寒波では1週間から3週間休みなしで設備さんが対応にあたったというふうにも聞いておりまして、このような場合の対応は大きな課題ですので、大至急対応くださるようよろしくお願いします。

【副会長】

質問ですが、メーターから中(宅内)も水道局さんに見ていただけるのですか。個人の設備、今のお話の例えば風呂が破裂した場合ほどどのように対応していただけるのでしょうか。

【事務局】

漏水した場合の料金の軽減については申請いただくこととなりますが、メーターを通過しても漏水で本来使っていない水量につきましては、通常であれば漏れたと思われる水量の半分が

軽減されます。

【副会長】

業者さんの手配とか、修理についても水道局さんが対応されますか。

【事務局】

そういうことになります。

それで、先程申し上げました、料金の軽減の申し込みが、最終的に112件あって・・・

【副会長】

料金だけじゃなくて、修理手配とかですね。

【事務局】

修理の手配はいたします。ただし、修理費用はお客様にお支払いいただきます。

【副会長】

概ね皆さんわかっているとおり、明け方ですよ、寒くなって氷点下になるっていうのは。放射冷却があれば、MAXで下がってくるのが4時半から5時くらいでしょうか。風の当たるところ、風の当たらないところで違いはあるにせよ、その時間に起きて対応してくれる業者さんをお願いすることができるのか。

【事務局】

先ず、優先的に当番店に連絡しますが、あとは反省点を踏まえて、そういうこと（寒波）が想定される時には、当番店に関わらず、その地区で一番近い所が修理に行けるような体制はとっていかねばならないと思っております。直接業者さんに依頼されても全く問題ございませんが、私どもを通していただいて依頼するというかたちであっても、電話は繋がる状態にあるとご理解いただければと思います。

【副会長】

明け方でも手配は可能だということですか。

【事務局】

24時間体制を取っているところ（当番店）は少なくとも大丈夫だと思っております。そのために（維持管理）委託契約をしておりますので、何度も申し上げますが、そういった依頼が大量にある場合に備えて、考えていかねばならないと思っております。今回は宿題をいただいたと思っております。

【会長】

止水弁で水を止める方法、どこに連絡すればいいか、修理業者の頼み方など、誰でも慌てずにできるように徹底して広報していただきたい。

【副会長】

もう一点、家庭用の瞬間湯沸器あるじゃないですか、貯湯式の、あれって例えば、氷点下になったときウォーターハンマーみたいになって、そこがひび入って水漏れすることはありますか。

【事務局】

私、以前営業係にいたものですからお答えさせていただきます。ご質問いただいた瞬間湯沸器の加熱する部分いわゆるラジエターですが、そこは凍りやすくもろい部分です。その前

の流入側にバルブがありますが、バルブは金属でだいたい露出しておりますので凍りやすくなっています。そこから、今度はラジエーターの中が凍って、それが凍ってしまうと交換するしかありません。修理ではなく交換になります。

【副会長】

ガス屋さんに連絡しなければならないということですかね。

【事務局】

そうです。ボイラーに関しましては、必ず流入バルブが付いておりますので、反転式のコック、若しくはバルブが必ず付いております。具体的な話を申し上げれば、依頼が来たときにとりあえず、コックを閉めていただく。その後業者さん依頼するということになります。

【副会長】

一般の方、そういうところはわからないですから。

【事務局】

水道メーター（の止水）もそうですが、おそらく自宅の水道メーターがどこにあるか把握している方も6割～7割じゃないかと思っておりますし、特に女性の方で給湯ボイラーの仕組をわかっている方ほとんどいませんので、湯沸器の場所がわかっている電話対応が可能であればコックのひねり方などを説明させていただいております。

【副会長】

水抜きもありますよね。例えば氷点下になる場合は、その方法をお知らせしてあげると便利かもしれないですよね。

【委員】

チラシを配っているということですがけれども、私も見ていなくて、市報みたいなところに特集みたいな形で、去年を踏まえて、今年もこういうことがあるかもしれませんよ。というように特集みたいなものをこれから寒くなるわけだからやってみたらどうかと思いました。

【事務局】

非常にありがとうございます。今、広報の方でトピックスなんていうページが1ページくらいいただけますので、今の時期ではたしてどうかというのがありますが、何かアクションを起こしていきたいと思っておりますし、それはそれとして、通常通り検針員さんから各世帯お知らせ用紙と一緒に配らせてもらうようなこともしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【委員】

今、日本中というのは大げさですが、非常に水道管本管の老朽化といいますか、耐用年数の関係で布設替えが非常に多くなっているという状況だと思うんですけど、こちらではどのような状況になっているのでしょうか。

【事務局】

水道管の布設替えの状況につきましては、現在は布設替えのときは耐震管に替えるということで、耐震化ということに置き換えさせていただきますが、私どもの水道管、全長で450km程度になります。そのうち平成29年度末の状況で耐震管になっているところがまだ9.2%でございます、それなりの身の丈の中でしか出来ないの、毎年2km程度でしょうか。

毎年450km分の2km程度を耐震化しておりますが、この耐震化率というのは県内でも決して高い方ではないというのが、いくつかある課題の中の一つであることは間違いございません。

【副会長】

逆に、1番古い管、石綿管はどれくらい残っていますか。

【事務局】

石綿管の前に、1番古いというと铸铁管というのがありまして、局の玄関先に錆びた铸铁管を展示してありますが、水原町の水道創設昭和11～12年の頃の管がありました。昭和30年代に入っておっしゃるとおり石綿セメント管が安価で使いやすいと隆盛となりまして、私どもかなりの割合で使っていましたが、平成に入りましてから補助金を受けながら順調に入れ替えが進みまして、石綿管についてはほぼ無くなり、路線としては一部数百メートル残ってる程度でございまして、今のところみなさんからご心配していただく必要はないのかなと思っております。

【副会長】

逆にあとは、耐震だけ気を付けて進めていただければ・・・。

【事務局】

太い管も細い管も布設替えすれば全て耐震化になりますので、毎年2km程度の布設替えしか出来ませんが、継続するようと思っております。

【会長】

○その他、意見・質問はないか諮り、質問等がないため、次の議題へ進む。

それでは、議題（3）の「阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について」事務局から説明をお願いいたします。

議題（3） 阿賀野市水道事業審議会委員の任期満了に伴う改選について

【事務局】

次第に記載されておりますとおり、皆様の任期につきましては今月末をもって満了となっております。

議会推薦の皆様につきましては、改めて議会推薦をいただくこととなりますけれども、識見を有する6名の委員の皆様に改選について事務局からお願いするものでございます。

この度の任期中は諮問案件はございませんでしたが、今ほどありましたとおり次年度につきましては前任期中皆様からご審議いただいたその上で答申をいただきました「新水道ビジョン」の見直し、時点修正になりますが、それを予定しております。

見直しにあたりまして、「ビジョンの方策が適正に推進されているか。財政状況によっては、将来の料金改定が必要になるのかどうか。出来るだけ引き延ばすことは可能か。など」検証いただいたうえで審議いただくことが必要というように考えております。

こういったことから、誠に勝手ではありますが、新水道ビジョンの策定にあたってご審議をいただいた皆様からは是非とも引き続き委員をお引き受けいただければとお願いするところでございます。

先日文書でもご依頼させていただきましたけれども、改めてここでお願いを申し上げます。皆様には長期間お引き受けいただいて、また再びというようなことで恐縮するところでございますが、何卒お力添えをいただきたいというようにお願いを申し上げます。

【会長】

今ほど事務局から再任依頼がありましたが、次年度の新水道ビジョンの見直しにあたって策定時に審議をおこなった我々に引き続き検証をお願いしたいとのことであります。

これに関して委員の皆様からご意見はありますでしょうか。

「異議なし」の声

【会長】

○拍手での承認を求める

【委員】

拍手で承認

【会長】

議員推薦を除きまして、全委員が再任可能とのことであります。事務局よろしいでしょうか。

【事務局】

皆様から再任いただけるということで、厚く御礼申し上げます。これからも水道事業の健全経営に向けてお力添えいただきますようお願いを申し上げます。

ご了承いただきました委員の皆様には後日、事務局から「承諾書」を郵送させていただきますのでよろしくお願いたします。

また、議会推薦委員の皆様におかれましては、大変ありがとうございました。次回またご推薦いただくことになりましたら、よろしくお願したいところでございます。ありがとうございます。

【会長】

それでは、改選の件につきましてはこれで終了し、事務局にまかせることでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

【会長】

異議なしということで、よろしく申し上げます。

議題に関しましては、これで終了いたしました。みなさまのご協力ありがとうございました。

次第のその他でございますけど、事務局何かありましたらお願いします。

「事務局からは特になし」

【会長】

それでは、本日の次第の全てが終了しました。

平成29年度は幸いにして有収水量は増加しましたが、給水人口の減少は歯止めがかからないような状況であります。今後も厳しい状況に変わりはないと見受けられます。

水道事業にとりましては水が売れないというのは、致命的な状況と察しております。そういった状況下であっても、事務局には是非、先に策定されました新水道ビジョンの目標を達成し、併せて黒字体系を維持し、可能な限り料金値上げを先送りできますよう経営努力をお願いするものでございます。

以上で本日の審議は終了いたします。慎重審議、ご協力大変ありがとうございました。

9 問い合わせ先

上下水道局 庶務係

TEL : 0250-62-2159

E-mail : suidol11@cocoa.ocn.ne.jp